

V. 「障害者一般就労移行チャレンジ事業」職員研修会 実施報告

1. 第1回職員研修会.....	89
2. 第2回職員研修会.....	91
3. 第3回職員研修会.....	94
参考:研修会の配布資料	エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 第1回職員研修会

1) 研修会の概要

日程	令和2年12月17日(木)	会場	周南地域地場産業振興センター
目的	企業が求める人材		
内容	・雇用創出のために ・企業で働くということ ・企業が求める人材		
参加者	26名		

2) プログラム

13:30~13:40 挨拶 特定非営利活動法人 山口県社会就労事業振興センター
理事長 益原 忠郁

13:40~14:00 講義

「障がい者の一般就労と雇用について」

～企業の本音を聞いてみませんか?～

- ・企業で働く(一般就労)のために、準備しておくポイント
- ・働き続ける(職場定着)のために、支援者側に求めること
- ・合理的配慮とは何か
- ・出光興産株式会社徳山事業所での事例

「これまでの就労形態と、チームの就労の違いについて」

14:00~14:10 休憩

14:10~15:00 周南企業部会メンバーに聞きたいこと

3) 参加者アンケート

問1. 受講の動機について

事業所・上司の勧め	5 事業所
自己啓発	7 事業所
その他	0 事業所

問2. 内容について5段階で評価してください

	平均値	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
● 案内と内容と一致	4.16	4名	6名	2名		
● 有益度	4.16	5名	4名	3名		
● 満足度	4.16	4名	6名	2名		

問3. 研修会内容について

大変参考になった	5 事業所
参考になった	7 事業所
内容が少し難しかった	0 事業所
難しかった	0 事業所

問4. 一番印象に残った内容は何ですか

- 就(職)労準備が出来ていない方でないと困る。ということ。支援者としても理不尽に感じていることと共通した発言が多く、あまり希望が持てる会ではないと感じてしまった。
- 準備(就労に向けて)の話
- 退職する方に対して今後の取り組み方についてメモを渡されたという内容に興味を持ちました。
- 職業準備性
- 企業が求めている人材→手のかからない人
2人で2人前、就職を送り出す側と受入側の温度差を感じました。
- 企業の方の本音
- 質疑応答
- 率直な意見が聞けて良かったです。
- マイスター制度、これまでの就労形態との違い。
- 福祉と企業の求めるものの違い、今後どのようなことを伝え、支援していくのか。
- 講師の報告

問5. 1月から実施する企業見学会に参加を希望されますか。

① 参加する	7 事業所
② 参加しない	4 事業所
③ 未定	1 事業所

問6. その他、ご意見・ご感想をお書きください。

- 障害者雇用が必要なのか疑問を持ちました。

2. 第2回職員研修会

1) 研修会の概要

日程	令和3年2月18日(木)	会場	スターピアくだまつ(下松市文化会館)
目的	障害者の一般就労と雇用		
内容	・自分へのスキルアップ ・仕事と趣味の両立 ・自立したい方		
参加者	19名		

2) プログラム

13:30~13:40 挨拶 特定非営利活動法人 山口県社会就労事業振興センター
理事長 益原 忠郁

13:40~14:00 講義 「企業が求める人材」

~就職を支援するに当たって気になることありませんか?~

- ・日鉄ステンレス山口製造所の障害者雇用の事例報告
- ・障害者雇用に至った経緯
- ・ライトワークG 設立の経過
- ・ライトワークG の職務
- ・今後の方針
- ・まとめ

14:00~14:10 休憩

14:10~15:00 周南企業部会メンバーに聞きたいこと

3) 参加者アンケート

問1. 受講の動機について

事業所・上司の勧め	5 事業所
自己啓発	4 事業所
その他	4 事業所

問2. 内容について5段階で評価してください

	平均値	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
● 案内と内容と一致	4.3	4名	6名	1名		
● 有益度	4.3	4名	6名	1名		
● 満足度	4.3	4名	6名	1名		

問3. 研修会内容について

大変参考になった	7 事業所
参考になった	5 事業所
内容が少し難しかった	0 事業所
難しかった	0 事業所

※ 無回答 | 事業所

問4. 一番印象に残った内容は何ですか

- 私たちのグループで出来なことはないとおっしゃったこと。胸を張って信頼していることが良くわかった
- 就労意欲!
- 企業の方からの一般就労にチャレンジしてみてくださいと言ってくださり、とてもありがたいと思いました。
- 安全教育について厳しく指導されておられることが講義、資料を通してよくわかりました。一定程度の力量が御社、社員に求められる思い、厳しく感じました。
- 障害のある方が実際にどういった仕事をされ、どのような方たちと仕事をされているのかを知れたこと。
- 安全に配慮ができる人、就労意欲がある人。
- 講師のアドリブ
- この事業に携わっている人は、企業の中で貴重な人材で選ばれた人だと感じたのでこの仕事にチャレンジしたくなった。
- ご本人さんの働きたいという気持ちを大切に扱うこと、意欲が大事だということが印象的でした。共感と私も同じ思いで、これで良いんだと思うことができ、勇気がもらえました。私の職場ではまさに支援員が無理と決めつけていることがあるので、自分の信念を信じて頑張っていんだと思えたことが、救われました。

問5. 今回の講習に追加してほしい内容(事業所で困っていることなど具体的に記入)

- 周南企業部会の同様な紹介(企業内事例紹介など)
- 雇用にあたり、困っている、それをどのようにして就労定着に向けて対応しているか。
- いろんな企業の取り組みや一緒に働かれている方の事例など
- 職域を広げるために他にどのような仕事があるのか
- 受入れる側の考え方や受け入れる際に重視していることをより具体的に聞きたい
- 各社の取り組みを一覧にしたものがあると参考にしやすい

問6. 今後、チャレンジ事業で行ってほしい研修会は何ですか。

- 周南企業部会の同様な紹介(企業内事例紹介など)

- 就労で見学や体験など機会がたくさんしてほしい。
また、関係機関についても知りたいです。
- 他社の雇用の成功事例の紹介
- 企業とのお話や就職に向けた支援について学びたい。
- 国・県・市の今後の動き

問7. その他、ご意見・ご感想をお書きください。

- こういった研修会に参加するのが初めてだったため、全てが新しく勉強になりました。
- 下松で参加しやすい地区で良かった。参加しやすい地区で開催していただけると嬉しい。
企業の方のお話が聞けて参考になりました。
- また、コラボできたら良い。

3. 第3回職員研修会

1) 第3回職員研修会の概要

日程	令和3年3月22日(月)	会場	山口県教育会館
目的	障害者一般就労移行チャレンジ事業の概要		
内容	・2年間の取り組みと成果の紹介 ・チャレンジ事業のさらなる展開に向けたグループ討議		
参加者	16名		

2) プログラム

- 13:30~13:35 挨拶 特定非営利活動法人 山口県社会就労事業振興センター
理事長 益原 忠郁
- 13:35~14:30 講義 「障害者一般就労移行チャレンジ事業」
・障害者一般就労チャレンジ事業の全体像と「B型チャレンジ事業」
・B型チャレンジ事業のコンセプト
・今年度の見学・説明会の報告
・グループ討議の位置づけ
- 14:30~14:40 休憩
- 14:40~15:55 グループ討議「効果的な見学・説明会とは」
- 15:55~16:00 まとめ

3) 参加者アンケート

問1. 受講の動機について

事業所・上司の勧め	5事業所
自己啓発	5事業所
その他	0事業所

問2. 内容について5段階で評価してください

	平均値	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
● 案内と内容と一致	4.5	6名	3名	1名		
● 有益度	4.6	7名	2名	1名		
● 満足度	4.5	3名	3名	1名		

問3. 研修会内容について

大変参考になった	7 事業所
参考になった	3 事業所
内容が少し難しかった	0 事業所
難しかった	0 事業所

問4. 一番印象に残った内容は何ですか

- JK 法で参加者のいろいろな意見が聞けたこと
- グループワーク
- グループワーク、情報交換
- 就労へ向かうための事業ではないことが分かったこと
- 他の事業所の意見が聞けて良かった
- チャレンジ事業の意味
- いろいろな方のお話を聞くことができて、とても良かったです。
- 全て勉強になりました。

問5. 実務での活用について

今回の研修会を受講した内容は、事業所等で役立てることが出来ますか。

① できる	8 事業所
② ややできる	2 事業所
③ できない	0 事業所

問6. 今後(来年度)、チャレンジ事業で行ってほしい研修会は何ですか。

- 見学会→実習
- 調査員としての詳しい研修
- 意見交換会、企業に実際に行っている支援
- 支援者にとって必要なスキル、知識について
- 実際の事例を詳しく
- もっとたくさんの企業見学会など
- B型事業所の在り方、就労移行支援事業の見直し、もっと利用・活用方法

問7. その他、ご意見・ご感想をお書きください。

- チャレンジ事業に対する知識が変わりました。
- 多くの意見を聞くことで視野が広がった。
- 来年度更なる事業の発展を楽しみにしています。

以上 文責:佐藤真澄(山口学芸大学)